

年間授業計画

高等学校 令和8年度 (3-4学年用) 教科

福祉 科目 介護福祉基礎

教科: 福祉 科目: 介護福祉基礎

単位数: 2 単位

対象学年組: 3・4 年次 組～ 組

教科担当者: 外谷 毅史

使用教科書: (【福祉702】介護福祉基礎 実教出版)

教科 福祉 の目標:

- 【知識及び技能】 介護の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 介護福祉基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に向かう態度等】
介護福祉の基礎的な資質・能力を地域における生活の継続性と関連させながら体系的・系統的に理解するとともに、実践的・体験的な学習活動を通して関連する技術を身に付けることができる。	介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理感を踏まえ、介護の基礎的な知識と技術を活用する。介護諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、介護の意義や役割について適切に判断し、創意工夫する能力を身に付け、表現	人間の尊厳を支え自立支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 介護福祉の理念と意義 【知識及び技能】介護福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】介護福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】人間の尊厳を支え自立支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。 上記を指導目標とし、次の指導項目を指導する。 ア 介護の理念 イ 介護の意義と役割 ウ 人間の尊厳と自立	・講義、演習、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ワークシート、自作課題等を教材とする。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】介護福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】介護福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力をもっている。 【主体的に学習に向かう態度】人間の尊厳を支え自立支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協動的に取り組む態度が身に付いている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	B 介護とコミュニケーション 【知識及び技能】介護福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】介護福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】人間の尊厳を支え自立支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。 上記を指導目標とし、次の指導項目を指導する。 ア ICIDHとICF イ 介護コミュニケーションの基礎 ウ 利用者主体の介護サービス	・講義、演習、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ワークシート、自作課題等を教材とする。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】介護福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】介護福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力をもっている。 【主体的に学習に向かう態度】人間の尊厳を支え自立支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協動的に取り組む態度が身に付いている。	○	○	○	28
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	C 高齢者の理解 【知識及び技能】介護福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】介護福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】人間の尊厳を支え自立支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。 上記を指導目標とし、次の指導項目を指導する。 ア 認知症について イ 高齢者理解 ウ 高齢者疑似体験	・講義、演習、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・教科書、ワークシート、自作課題等を教材とする。	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】介護福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】介護福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力をもっている。 【主体的に学習に向かう態度】人間の尊厳を支え自立支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協動的に取り組む態度が身に付いている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							78